

(54) INSTALLATION DESK FOR DESK-TOP EQUIPMENT

(11) 60-84618 (A) (43) 14.5.1985 (19) JP

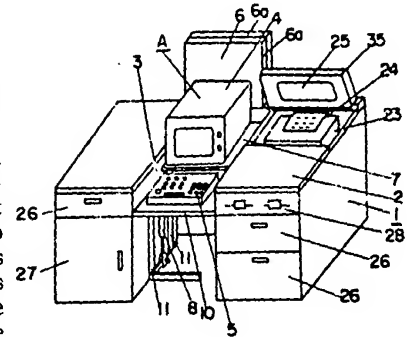
(21) Appl. No. 58-192835 (22) 15.10.1983

(71) MATSUSHITA DENKO K.K. (72) ICHIROU NAGAI(1)

(51) Int. Cl. G06F1/00, A47B37/00

PURPOSE: To use one desk for both reading and writing work and desk-top equipment by providing the desk with a storage part and storing the desk-top equipment therein, and covering the top surface opening with a folding desk-top board.

CONSTITUTION: The desk-top equipment installation desk 1 has the storage part 3 whose desk-top boards 2 are opened at a proper position. The desk-top equipment A such as a display device 4 and a keyboard 5 is stored in the storage part 3, and the top opening of the storage part 3 is covered with the folding top board 6. Further, an elevation base 7 mounting the desk-top equipment A is arranged in the storage part 3. This elevation base 7 is supported with a gas spring 8, which is operated on an operation part provided on the front of the desk 1 to elevate the elevation base 7. This opening is covered to use the entire surface of the desk top while the desk-top equipment is present thereupon, and the top board 6 are opened to expose and use the desk-top equipment A.



⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 昭60-84618

⑮ Int. Cl.⁴

G 06 F 1/00
A 47 B 37/00

識別記号

1 0 1

庁内整理番号

Z-6913-5B
Z-8206-3B

⑬ 公開 昭和60年(1985)5月14日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑭ 発明の名称 卓上機器設置机

⑯ 特 願 昭58-192835

⑰ 出 願 昭58(1983)10月15日

⑱ 発 明 者 長 井 一 郎 門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内

⑲ 発 明 者 片 山 智 門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内

⑳ 出 願 人 松下電工株式会社 門真市大字門真1048番地

㉑ 代 理 人 弁理士 石田 長七

明 細 書

1. 発明の名称

卓上機器設置机

2. 特許請求の範囲

(1) 机の適所に机天板で上面を開口せる収納部を設け、この収納部にパーソナルコンピュータやワードプロセッサのディスプレイ装置やキーボード等の卓上機器を収納し、収納部の上部開口を開閉自在の開閉天板にて閉塞し、卓上機器を収容した昇降台を収納部に昇降自在に配設すると共に昇降台をガススプリングにて支持し、ガススプリングを作動させてガススプリングにて昇降台が上昇するように操作する操作部を机の手前に設けておくことを特徴とする卓上機器設置机。

3. 発明の詳細な説明

〔技術分野〕

本発明は卓上機器設置机、さらに詳しくはパーソナルコンピュータやワードプロセッサのディスプレイ装置やキーボード等の卓上機器を収容した

卓上機器設置机に関するものである。

〔背景技術〕

一般にパーソナルコンピュータやワードプロセッサなどの卓上機器を設置する場合、それらの卓上機器によつて一つの机が占有されてしまい、卓上機器の非使用時にその机を占めるものや減退のような他の目的に使用できないものである。このため、卓上機器専用の机が必要となるが、卓上機器専用の机を置くには広いスペースが必要であり、室内空間が狭くなるという問題がある。

〔発明の目的〕

本発明は上述の問題点を隘みて為されたものであつて、その主な目的とするところは、パーソナルコンピュータやワードプロセッサを収容してもそれらの卓上機器の非使用時には卓上機器を机内に収納して机を広く使うことができ、しかも開閉天板を開くことにより卓上機器を露出させることができ、さらにガススプリングにて昇降台を上昇させて卓上機器を自動的に上に突出させることができる卓上機器設置机を提供するにある。

〔発明の開示〕

本発明卓上装置設置機は机(1)の適所に机天板(2)で上面を開口せる収納部(3)を設け、この収納部(3)にパーソナルコンピュータやワードプロセッサのディスプレイ装置(4)やキーボード(6)等の卓上装置(A)を収納し、収納部(3)の上面開口を開閉自在な開閉天板(6)にて閉塞し、卓上装置(A)を破直した昇降台(7)を収納部(3)内に昇降自在に配設すると共に昇降台(7)をガスピリング(8)にて支持し、ガスピリング(8)を作動させてガスピリング(8)にて昇降台(7)が上昇するように操作する操作部(9)を机(1)の手前に設けたものであつて、上記のように構成することにより従来例の欠点を解決したものである。つまり開閉天板(6)にて収納部(3)の上面開口を開塞することにより卓上装置(A)を破直しない状態で天板全面を使用でき、また開閉天板(6)を開いて収納部(3)の上面開口を開くことにより卓上装置(A)を天板上に露出させて使用できるようにし、さらに操作部(9)を操作することにより卓上装置(A)をガスピリング(8)にて上に突出させられるようにしたものである。

のである。

以下本発明を実施例により詳述する。(1)は机であつて、机天板(2)の略中央に天板をなくして上面を開口せる収納部(3)を設けてある。この収納部(3)内にはキーボードの受け台(4)と、上下動自在なディスプレイの昇降台(7)とを設けてある。昇降台(7)は机(1)に取付けたガイド(8)に対してスライドレール(11)をスライド自在に装着することにより上下に昇降自在にしてあり、昇降台(7)をガスピリング(8)にて支持してある。ここでガスピリング(8)はシリコン収納ボックスである。ガスピリング(8)はシリコン収納内にピストン(12)とフリーピストン(14)を摺動自在に内装し、ピストン(12)と一体のピストンロッド(13)をシリコンタ(14)の一端より突出させ、ピストン(12)にオリフィス孔(15)を設けると共にスプルー(16)を設け、スプルー(16)を開閉操作し得るプッシュロッド(17)をピストンロッド(13)の内部に摺動自在に挿入させて一端を突出させ、シリコンタ(14)内の室(12a)及び室(12b)にオイルを充填し室(12c)に高圧ガスを封入してある。昇降台(7)にはディスプレイ装置(4)を破直してあり、キーボード(6)を受け台(4)上にキーボード(6)を破直してある。開閉天板(6)は二つのパネル(6a)を折畳み自在に連結した二つ折りのもので、一方のパネル(6a)の側端を収納部(3)の上部開口の前縁部に回動自在に装着して上面開口を開閉天板(6)にて閉塞してある。机(1)の下部には操作部(9)としてペダル(10)を配設してあり、ペダル(10)と一体のコ字状の連動杆(11)の先端をガスピリング(8)のピストンロッド(13)の先端に取付金具(12)に軸(13)にて回動自在に装着してあり、連動杆(11)の先端部をプッシュロッド(17)の端部に対向させてある。また机天板(2)の右側端にはプリンタ(14)を内装してあり、収納凹所(15)にはプリンタ(14)を内装してあり、収納凹所(15)の上面開口は開閉自在な蓋(16)にて閉塞してある。蓋(16)はアクリルガラスのような透明板よりなる窓(17)を設けてある。窓(17)は引出し、又は扉、又はディスク装置引出しである。しかして開閉天板(6)及び蓋(16)を開じた状態では第1図のように机天板(2)上にディスプレイ装置(4)、キーボード(6)、プリンタ(14)等の卓上装置(A)が露出せず、机天板(2)の上面全面を使つて視み書き等ができる。またパーソナルコンピュータやワードプロセッサ等を使用するとき第2図のように開閉天板(2)を折畳んで収納部(3)の上面開口を開き、ディスプレイ装置(4)、キーボード(6)等の卓上装置(A)を露出させる。このとき操作部(9)であるペダル(10)を踏んで連動杆(11)の先端をガスピリング(8)のプッシュロッド(17)を押してガスピリング(8)にて第4図(a)の状態から第4図(b)の状態のように昇降台(7)を上昇させてディスプレイ装置(4)を上方に突出させる。つまりプッシュロッド(17)を押していない状態で昇降台(7)が下降している状態が第5図(a)の状態であり、室(12b)は室(12c)、5図(a)の状態であり、室(12b)は室(12c)の高圧で高圧状態になっている。ここでプッシュロッド(17)が押されるとスプルー(16)が開かれ、第5図(b)に示すように室(12b)の高圧にてピストン(12)が押され室(12a)内のオイルが室(12b)内に流入し、ピストン(12)に対してシリコンタ(14)が上方へ移動し、昇降台(7)が上昇する。ペダル(10)を踏むのを解除するとプッシュロッド(17)の押

スプレ装置(4)を破直してあり、キーボード受け台(4)上にキーボード(6)を破直してある。開閉天板(6)は二つのパネル(6a)を折畳み自在に連結した二つ折りのもので、一方のパネル(6a)の側端を収納部(3)の上部開口の前縁部に回動自在に装着して上面開口を開閉天板(6)にて閉塞してある。机(1)の下部には操作部(9)としてペダル(10)を配設してあり、ペダル(10)と一体のコ字状の連動杆(11)の先端をガスピリング(8)のピストンロッド(13)の先端に取付金具(12)に軸(13)にて回動自在に装着してあり、連動杆(11)の先端部をプッシュロッド(17)の端部に対向させてある。また机天板(2)の右側端にはプリンタ(14)を内装してあり、収納凹所(15)にはプリンタ(14)を内装してあり、収納凹所(15)の上面開口は開閉自在な蓋(16)にて閉塞してある。蓋(16)はアクリルガラスのような透明板よりなる窓(17)を設けてある。窓(17)は引出し、又は扉、又はディスク装置引出しである。しかして開閉天板(6)及び蓋(16)を開じた状態では第1図のように机天板(2)上にディスプレイ装置(4)、キーボード(6)、プリンタ(14)等の卓上装置(A)が露出せず、机天板(2)の上面全面を使つて視み書き等ができる。またパーソナルコンピュータやワードプロセッサ等を使用するとき第2図のように開閉天板(2)を折畳んで収納部(3)の上面開口を開き、ディスプレイ装置(4)、キーボード(6)等の卓上装置(A)を露出させる。このとき操作部(9)であるペダル(10)を踏んで連動杆(11)の先端をガスピリング(8)のプッシュロッド(17)を押してガスピリング(8)にて第4図(a)の状態から第4図(b)の状態のように昇降台(7)を上昇させてディスプレイ装置(4)を上方に突出させる。つまりプッシュロッド(17)を押していない状態で昇降台(7)が下降している状態が第5図(a)の状態であり、室(12b)は室(12c)、5図(a)の状態であり、室(12b)は室(12c)の高圧で高圧状態になっている。ここでプッシュロッド(17)が押されるとスプルー(16)が開かれ、第5図(b)に示すように室(12b)の高圧にてピストン(12)が押され室(12a)内のオイルが室(12b)内に流入し、ピストン(12)に対してシリコンタ(14)が上方へ移動し、昇降台(7)が上昇する。ペダル(10)を踏むのを解除するとプッシュロッド(17)の押

圧が解除されてスフル-弁が閉じられて第5図(c)の状態になつてロックされる。またフリント4は蓋6を閉じた状態でも開いた状態でも使用できる。蓋6を閉じた状態で使用するとき蓋6からプリントされている状態を見ることができる。またディスプレイ装置14を下げる場合はカスフリング10に抗してディスプレイ装置14を押下げる。つまりペダル6を踏んでフツシュロッド7を押してスフル-弁を開いて上から押すと、第5図(b)の状態になりオイルが室(12b)から室(12a)に流入し、ペダル6の圧を解除すると、第5図(a)の状態にロックされる。ディスプレイ装置14を下降させた後閉閉天板12を展開して収納部13の上開口を閉じて第1図の状態にする。

また第7図は叙述の他の実施例を示すもので操作部10として手で操作するレバ-10を用いたものである。レバ-10の先端部を昇降台17の下方に目視目仕に格納してあり、ヒストンロッド7の取付金具部に作動杆30を目視目仕に格納してあつて、作動杆30の先端をフツシュロッド7に当接してあ

り、作動杆30の先端とレバ-10の先端とをフ-リ軸を介してワイヤ32にて連結してある。しかしレバ-10を下に押すとワイヤ32、作動杆30を介してフツシュロッド7が押圧される。

〔発明の効果〕

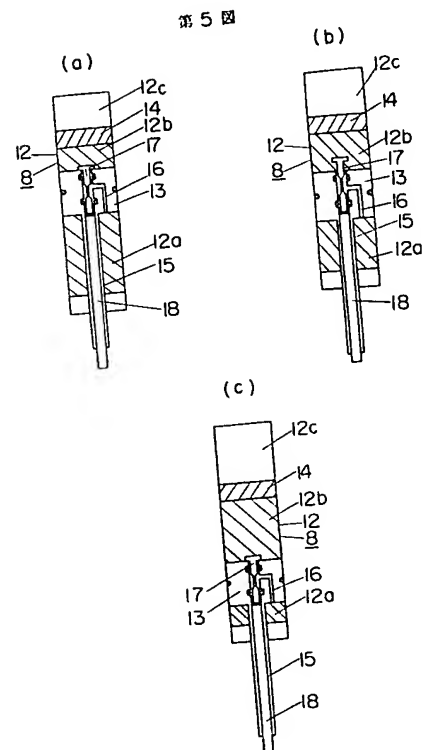
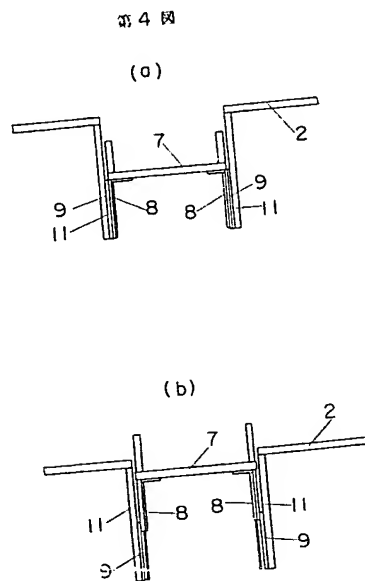
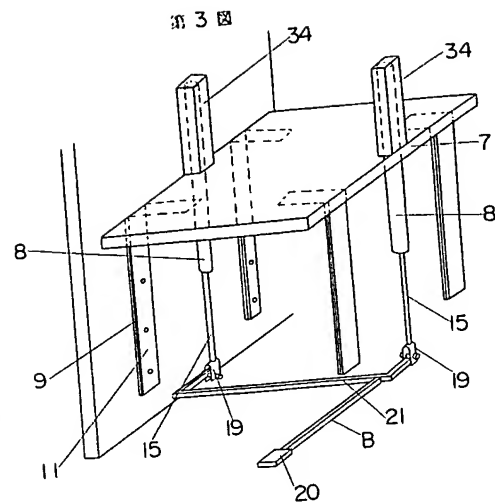
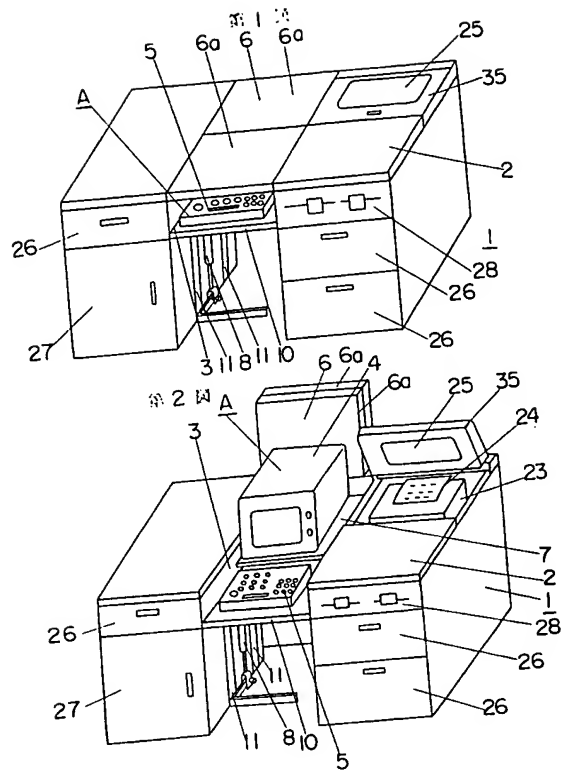
本発明は叙述の如く機の座席に机天板で上面を開口せる収納部を設け、この収納部内にディスプレイ装置、キーボード等の卓上機器を収納し、収納部の上面開口を開閉自在な閉閉天板にて閉塞しているため、上面開口を閉塞した状態では卓上機器が机天板上に露出せず机天板上の全面を使つて読み書き等ができるものであり、しかも閉閉天板を開くことによりディスプレイ装置やキーボード等の卓上機器を露出させて使用できるものである。従つて座席の読み書きと卓上機器の使用が一台の机で兼用できる上、卓上機器を格納しても室を広く使える。また本発明は卓上機器を収めた昇降台を収納部に昇降目仕に取出すると共に昇降台をカスフリングにて支持し、カスフリングを作動させてカスフリングにて昇降台が上昇するよ

うに操作する操作部を機の半前に設けてあるので、操作部の操作にてカスフリングにて昇降台が上昇して卓上機器が目視目仕に突出するものである。

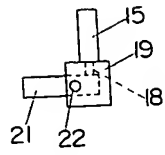
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の第一実施例を示す斜視図、第2図は同上の閉閉天板を開いた状態の斜視図、第3図は同上の昇降台を昇降させる機構の斜視図、第4図(a)(b)は同上の昇降台の昇降の状態を説明する説明図、第5図(a)(b)(c)はカスフリングの動作説明図、第6図はカスフリングとペダルとの連結部を示す断面図、第7図は同上の他の実施例の昇降台を説明する機構を示す斜視図であつて、(1)は机、(2)は机天板、(3)は収納部、(4)はディスプレイ装置、(6)はキーボード、(6)は閉閉天板、(7)は昇降台、(8)はカスフリングである。

代理人 弁理士 山 田 茂 七



第 6 图



第 7 图

